

プロフィール

所在地	徳島県徳島市
団体名	鳴門教育大学附属特別支援学校青年学級
活動名称	鳴門教育大学附属特別支援学校青年学級
こんな活動です	同窓生と毎月楽しく過ごす、憩いの場・癒やしの場
連携している団体等	特別支援学校



功 労 者 表 彰

活動分野	スポーツ・文化
主な対象	鳴門教育大学附属特別支援学校卒業生
団体の規模	職員数 59名 名簿登録者数 446名

活動の説明

①活動内容	<p>4月から3月までの毎月1回、次のような内容で青年学級を実施している。</p> <p>①新会員紹介・お花見、②「運動会」・「学校祭」参加、③レクリエーション（風船バレー、ダンス等）、④ビデオ鑑賞会、⑤お菓子作り・かんたん調理、⑥夏祭り・懇親会・スイミング、⑦お茶会、⑧新年会・新成人紹介</p> <p>卒業生が定期的に会合を持ち、同窓生とともに楽しく余暇を過ごすなかで、様々な情報共有を図りながら、社会生活上必要な知識・技能・態度を身に付けていく生涯学習の場である。</p> <p>社会人としての現在の生活の様子や、生活上の問題、職場や人間関係の悩み事等について、信頼を置く教員や同窓生が話を聴きアドバイスをすることにより、社会への適応スキルを高め、明日への意欲を養う場となっている。</p>
②活動体制	<p>全ての卒業生に青年学級を紹介しており、現在の名簿登録者数は446名である。そのうち、最年長は1964年（昭和39年）卒業生であり、活動の歴史も53年を重ねている。</p> <p>担当教員が、工夫・改善を加えながら年間12回のスケジュールを作成し、3月と10月に登録者に郵送している。教員4~7名のグループを形成し、介護等体験実習の学生と共に青年学級を毎月輪番制で担当している。参加者からは活動材料費と会食費を集金し運営している。</p>
③活動の効果等	<p>53年の長きにわたり、社会に送り出した卒業生をサポートしている。毎回30~40名程度の参加があり、卒業生にとっては余暇を楽しむ場としてだけでなく、心の拠り所・生涯学習の場となっている。卒業後、社会人として活動範囲が広がるなかで、生活上の問題や職場での人間関係の課題など多岐にわたる相談内容を抱える卒業生は多い。卒業生にとって、安心して相談できる教員や同窓生の存在は、社会的孤立を防ぐ上でも非常に大きな役割を果たしている。障害の種別やその程度により、抱える問題も悩みも様々であるが、一人の自立した社会人としての生き方を支援する活動としての機能を果たしている。また、活動を通して教員が卒業生の社会での生活実態を知ることにより、在学する児童生徒の生涯を見据えた教育の在り方についても、考える機会となっている。</p>

活動の様子

	
お花見で同窓生とお弁当を食べながら歓談	夏祭りでかき氷作りに挑戦